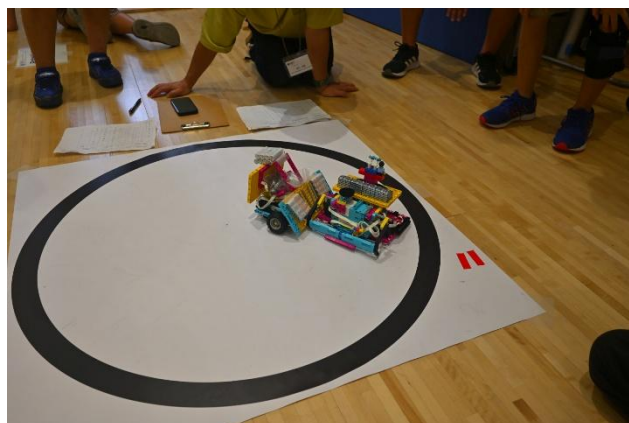


スモロボット ルール 2026

2026.05.20

スモロボットチャレンジ(Sumobot Challenge)は直径100cmの白い円板状のフィールドから相撲のように相手を押し出す競技です。競技時間は3分で2台のロボットで戦います。ロボットは自律型であり、競技開始時の大きさは底面が25cm×18cm以内で、重さは1kg以内。粘着テープや吸盤などによって床に吸着するような部品をつけてはいけません。遠隔操作も認められません。相手を土俵の外に押し出すことによって勝敗を争います。



2026 年変更ルール

マシンの重さ制限が1kg以下になります。LEGO&VEX IQ 部門（小学生のみ）とオープンクラス（小4～高校生）に分かれます。オープンクラスのロボットはマイコンボードに制限はありません。

2026 年東京大会のルール

●部門

1. LEGO&VEX IQ 部門 小4～小6
(EV3、SPIKE、VEX IQ エデュケーション キットなどで参加可能)
2. オープンクラス 小4～小6
3. オープンクラス 中学生
4. オープンクラス 高校生

●競技ルール

1. 1回の競技時間は3分で、2台のマシンで対戦する。
2. 取り組み（競技）の組み合わせは当日発表。
3. 試合開始前にロボットを土俵の黒い線よりも内側に置きスタートの合図を待つこと。ただしロボットの置く向きはチームメンバーが自由に決めてよい。
4. 競技スタートの合図後（再スタートも含む）、ロボットは3秒間静止すること。その間にチームメンバーは土俵から離れること。
5. ロボットが5秒間ほとんど動かない場合は審判が競技停止を宣言し再スタートとする（時計は止めない）。
6. 2台のロボットがほぼ同時に土俵から出た場合（勝敗が分かりにくい場合を含む）は再スタートとする（時計は止めない）。
7. 土俵でロボットを始動させることができるのはチームメンバーの1人だけ。他のチームメンバーはロボットに触ることはできない。競技中は土俵から離れた位置で待機すること。

●予選の得点

勝者3点、引き分け1点、敗者0点

勝敗ルール

- ロボットが土俵の外に自分から出た、または相手から押し出された場合は負け。※土俵の外に出たとはマシンを支えているタイヤやキャストの1つが土俵の外に出た場合をいう
- 土俵内でロボットが自ら転倒、また相手ロボットに倒された場合も負け

●予選の最終得点と決勝戦

すべての競技の総合得点が予選の最終得点となる。予選上位4チームで決勝戦と3位決勝戦を行う（引き分けなし）。勝敗が見つからない場合はチーム代表によるじゃんけん等で決めるものとする。

●ロボット

1. ロボットは自律型で、コントローラーなどでの遠隔操作は不可とする。センサーは使用しても良い。
2. 競技開始時のロボットの大きさが25cm×18cm以下であること。ただし、高さに制限はない。
3. 重さは1kg以下とする。
4. 【ロボットの禁止事項】に当てはまらないロボットであること。
5. 取り組み（競技）前にロボットがルールに適合しているかを確認するために、チェックインを実施する。取り組み（競技）後に改造をした場合は再度チェックインをする必要がある。チェックインでは仕様に適合しているか（サイズ、重さ、禁止事項）を確認する。

●【ロボットの禁止事項】

以下の項目が1つでも含まれているロボットは競技に参加できない。

1. 鋭いエッジがあるもの（自分で怪我をしてしまうような刃を持ったもの）
2. 競技マットや他のロボットおよび操作者を傷つけるような部品があるもの（例：傷つけ、カットする、および穴あけを目的とする部品）
3. 赤外線LEDを発射して相手の赤外線センサーを妨害する装置があるもの
4. 液体、粉体、気体、その他の物質を相手に浴びせるような装置をもつもの
5. 相手のロボットを捕らえることを意図したもの
6. 真空ポンプ、磁石、接着剤、吸盤のような床に吸い付くような力を増大させるためのシステムをもつもの
7. 摩擦力を向上させるための粘着性物質があるもの

●土俵（フィールド）

1. 土俵（フィールド）の大きさは直径が100cmの白い円板状でその円周には5cmの幅で黒く塗られた縁（ふち）がある。
2. 素材は木やポリウッドなど磁石に反応しないものを使用。